

「エッセイ版」

佐藤 洋祐

「心技体の磨き方」

小さな成果の実る時

## よさこい写真展と アンティーク着物・令和時 代の着物アレンジ

時代まつりでお馴染みとなりましたSAKURAすと  
りーと奏蘭、その実行委員会  
では今のところコロナ禍で演  
舞をお見せできませんが、写  
真と衣装で祭り気分を味わっ  
ていただこうと写真展を開催  
しています。3月29日(月曜  
日)までJR佐倉駅コンコース  
の市民ギャラリーで開催して  
います。ぜひご覧ください！

### ワクチン接種 的確な情報提供で混乱避けよ

3月14日朝刊と共にお手元  
に届いた「こうほう佐倉」に  
新型コロナワクチン接種のお  
知らせが掲載されていました。  
3月下旬から65歳以上の方々  
に《接種券》が届きます。接  
種可能時期はこうほう佐倉ま  
たは市のHPで案内されます  
ので自分が摂取したい会場と  
日時を選び、またはインター  
ネットで予約をします。今後  
の情報に注視していきたいです。

務所を出所した者の支援をし  
たのが始まりで法務省は  
1990年代から途上国へこの  
法制度整備を支援してきたの  
だそうです。世界的にこの法  
制度のニーズがあると  
「HOGOSHI」の名称と共に国際  
的なルールづくりを主導し  
「世界保護司デー」の創設も  
計画しているとありました。  
あまり周知されていない会  
議ですが、日本の優れた制度  
や独自のシステムを大いに世界  
へ発信してもらいたいものです。

皆様、こんにちは！3月、春は「開く」季節。私  
たちの体の、冬の寒い間に閉じていたいろいろな部  
位も開き、ため込んでいた老廃物などを体外に排出  
する時期です。また、昔に今ぞと咲き誇る植物ば  
かりでなく、あらゆる生き物たちのコツコツと地道に  
蓄積していた努力が、ささやかであっても成果とし  
て花開く時期でもあります。

心技体の研鑽、私は「ドラムンへの階段」という  
私の3か年計画、「ジャズミュージシャン」として、日  
本のポピュラー音楽における最も知られた賞である  
『日本レコード大賞』を狙うぞー！という目標の  
追及をひとつの柱として、その研鑽をはじめ2年  
がたちました。3年目を迎えるにあたり、この2年  
間の自身の研鑽の成果についてお話しをさせてい  
ただき、この「心技体の磨き方」のシリーズを締め  
くくりたいと思います。

サクソ奏者として音楽を生業としてきた私でし  
たが、アメリカから帰国し、1、2年日本で音楽を  
演奏するうちに、自分も歌を唄いたい、歌を唄うこ  
とで自分の音楽をさらに納得のいくものにした  
という思いのもと、このような目標を、若気の至り  
(もう49歳になります)で皆様にお披露目さ  
せていただきました。2019年4月にこの取り組  
みをはじめ、最初の1年は、自分をよく見せたいと  
いう見栄、迷い、焦り、失望の中で、もがき苦しむ  
うちにただただ過ぎました。2年目になり、世界が  
コロナ禍に見舞われ、それを機によりよく自分と自  
分を取り巻く世界を見つめ直すことになりました。  
自分が為さなければ、何も始まらないこと。自分が  
何かを成すためには、たくさん努力する必要がある  
こと。そしてすぐには成果が顕われず、コツコツと  
地道に怠らずに努力を続けるべきこと。いろいろな  
「諦め」とともに、自分がこの目標に向かって進む  
ための具体的な方向が「明らか」になりました。

そして、今。この「開く」春に、これまでの成果  
が自分の中で少くしづつ認められるようになってき  
ました。歌を、自分がサクソスを吹くように自由に  
唄うためにどんなトレーニングが必要であるのか、  
明確になりました。(だからといってまだそのレベル  
には達しませんが)歌を唄うための伴奏として同  
様に磨いてきたピアノやギターの腕前も、少くしづつ、  
向上の道筋が体で掴めてきて、身についてきました。  
これらの成果を自分の内側に感じつつ、今度はさあ、  
それを観覧くださる皆様に「目に見えて明かな成  
果」として感じていただくために、この内側の微細  
ながらも芽吹いたつぼみたちを、大事に育て花咲か  
せていくばかりです。

このような心持ちにある故でしょうか、私の周り  
の皆様に、「いい、今この時に生きていてくれて、  
本当にありがとう」とお伝えしたい気持ちだが、心の  
底に静かに、まるで清らかな井戸水のように溜まり、  
たつぷりと揺れています。こうしていつもYOMI  
URIつうしんを介して、私とのふれあいを続けて  
くださる佐倉市の皆さんへ、心から、「どうもありが  
とうございます」。



挿絵 TAKAKO

佐藤 洋祐(サトウ ヨウスケ)  
ジャズミュージシャン。サクソ奏者としてグラミー賞を  
2度受賞、ノミネートは4度。海外での活躍で世界的に高  
い評価を得た。その後2015年末千葉県に住まいを移し  
現在に至る。2019年よりシンガーとしても活動を開始。